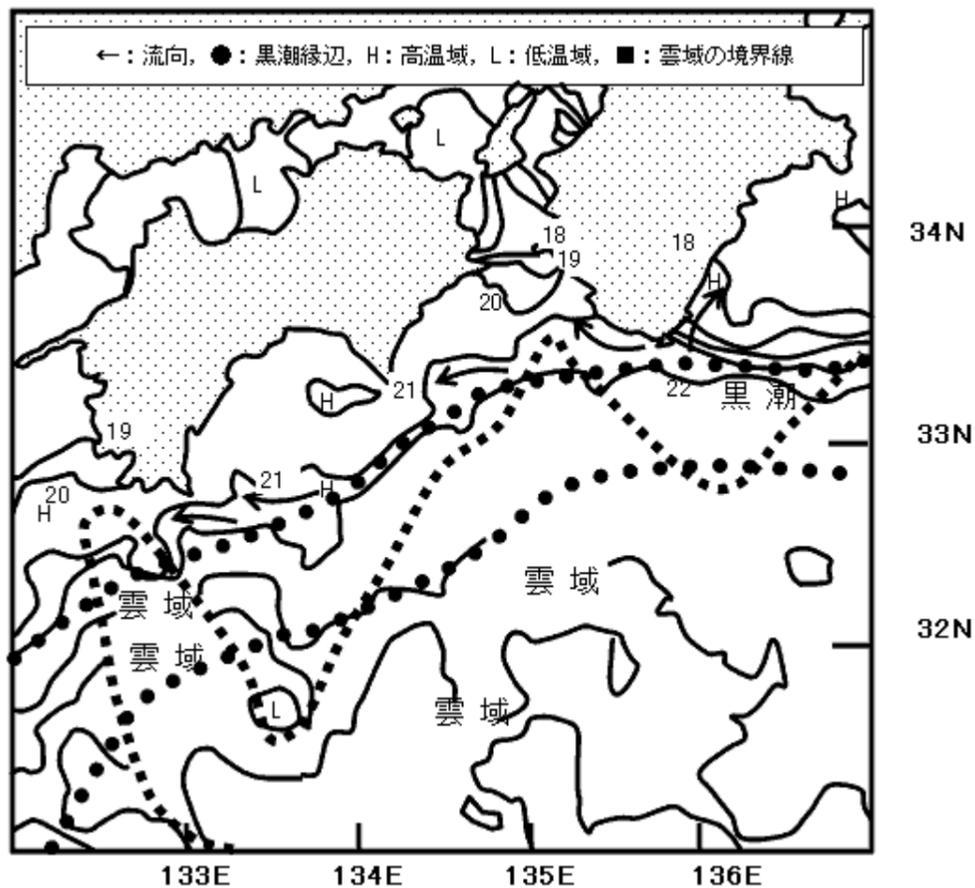


1. 海況の経過



上に和歌山県の人工衛星海況速報(H19.12.16~17)を示した。

黒潮は室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は23℃台である。

表面水温は播磨灘が14℃台、紀伊水道内部が15~18℃台、外域が19~21℃台となっている。紀伊水道外域沖に黒潮の暖水波及がみられ、海部沿岸は20℃の水温で覆われている。

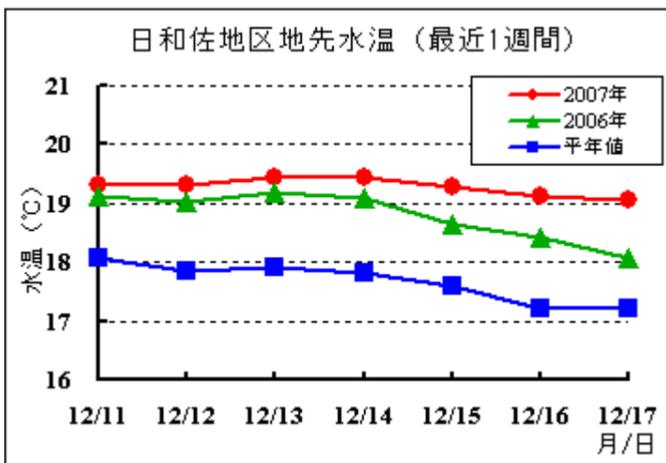
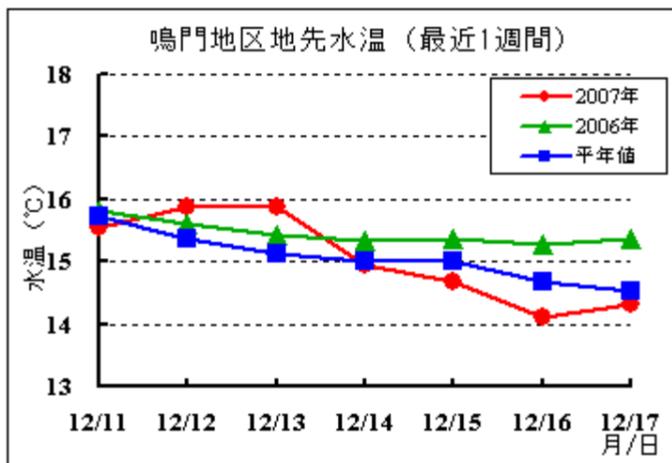
漁業調査船「とくしま」が12月7,10,12日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温は表層~20m層で「平年並み」の18.1~18.5℃、30m層で「やや高め」の18.9℃、50m層で「平年並み」の19.2℃であった。

紀伊水道海区観測結果 (観測日 2007/12/7,10,12)

水温	水深					塩分	水深				
	表層	10m	20m	30m	50m		表層	10m	20m	30m	50m
今年値	18.1	18.1	18.5	18.9	19.2	今年値	33.8	33.8	34.0	34.1	34.2
平年偏差	0.4	0.3	0.4	0.6	0.4	平年偏差	0.6	0.5	0.4	0.4	0.2
前年偏差	-0.3	-0.4	-0.6	-0.4	-0.7	前年偏差	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」~「やや高め」の14.1~15.9℃、日和佐地区は「やや高め」~「高め」の19.1~19.5℃、牟岐地区は「やや高め」~「高め」の18.6~19.6℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にサバフグが 1.5トン(1日1隻あたり34kg)、大、中主体にアマダイが 0.6トン(同17kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、中主体にアオリイカが 1.5トン(同11kg)、ヒラソウダが 0.7トン(同15kg)、タチウオが 0.6トン(同29kg)、マルソウダが 0.3トン(同8kg)、メジナが 0.3トン(同40kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、ヒラソウダが 0.8トン(同212kg)、マメ主体にマアジが 0.7トン(同173kg)、小主体にタチウオが 0.4トン(同81kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、特大主体にカツオが 2.0トン(同179kg)、大・中主体にアオリイカが 1.1トン(同7kg)、キハダが 0.8トン(同127kg)、大・中主体にタチウオが 0.6トン(同21kg)、特大主体にヨコワが 0.4トン(同10kg)、紀伊水道で、大・中主体にサワラが 0.8トン(同15kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが 16.0トン(同167kg)水揚げされた。

漁業種別漁獲量集計表(抜粋) 12月10日～12月16日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	43	1,464	34	大主体
		アマダイ	34	578	17	大・中主体
小型定置網		アオリイカ	135	1,454	11	中主体
		ヒラソウダ	49	748	15	
		タチウオ	21	603	29	
		マルソウダ	44	336	8	
		メジナ	8	322	40	
		大型定置網	ヒラソウダ	4	847	212
マアジ			4	692	173	マメ主体
タチウオ			5	407	81	小主体
釣り		カツオ	11	1,969	179	特大主体
		アオリイカ	169	1,128	7	大・中主体
		キハダ	6	763	127	
		タチウオ	28	599	21	大・中主体
	ヨコワ	39	400	10	特大主体	
	パッチ網	紀伊水道	サワラ	50	755	15
シラス		96	16,000	167		

週間予報:

黒潮は室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先が「平年並み」の13℃台、日和佐地先が「やや高め」の18℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りでスルメイカが 3.7トン(1日1隻あたり21kg)、メジロが 0.7トン(4kg)、イサキが 1.0トン(6kg)、パッチ網でシラスが 5.9トン(同90kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、メジカが 70.3トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上